

九州周遊 建築散歩

第九回(2月21日)
大宰府廻り

飛梅が咲く天満宮周辺の散策と 国立博物館の現場見学は如何ですか。

第9回目の「九州周遊建築散歩」は、1100年の歴史を持つ大宰府天満宮の周辺の散策を行います。

今回は、九州国立博物館（仮称）の竣工前ということもあり、現場見学を行います。建築家菊竹清訓の最新作の現場が見れるすばらしい機会だと思います。

まだまだ寒い日が続きますが、梅はもう満開だと思います。散歩のつもりで気楽に参加してみませんか？

筑紫万葉のふるさと観光と 史跡散策太宰府

現在の太宰府市には、1300年の昔、九州全体を治める「大宰府」という大きな役所が置かれ、500年の長い間、その役目を果していました。

今もその歴史をしのばせる大宰府跡・水城跡・大野城跡・観世音寺・筑前国分寺跡・太宰府天満宮など、数多くの史跡が存在します。

今回、史跡解説員（ボランティア）の方による案内で午後から太宰府市内を散策する予定になっています。

左：太宰府天満宮

右：光明禅寺

右下：大宰府政庁跡



見学予定箇所 (順不同)

九州国立博物館
太宰府天満宮
大宰府政庁跡

観世音寺
九州歴史資料館
筑前国分寺跡

戒壇院
光明禅寺
水城跡



2003年12月 現在
建物の大屋根はまわりの森の緑と比べて、あざやかなブルーです。



九州国立博物館（仮称）現場見学

北九州国立博物館（仮称）は菊竹・久米設計共同体が設計、大成・西松・松尾特定建設工事共同企業体が施工を行い、2004年3月の竣工に向け最後の仕上げの時期に来ています。

博物館の屋根のデザインは周囲の山並みに溶け込むような曲線的な形で、構造も丘陵に合わせた階段状になっています。また、予定周辺の自然を生かすために造成面積を極力抑え、館内で使用する水は雨水を使うなど環境保護へも配慮し、壁面にはガラスなどを有効活用して斬新な外観としています。

今回、市民の方と一緒に午前中に現場見学を行う予定になっています。

「九州周遊建築散歩」では次回以降も様々な地域の建築を散策します。分野や専門にかかわらず建築に興味がある方は是非ご連絡下さい。

連絡先：北九州大学国際環境工学部N3 3 1（内2397）

代表：D1小川由美子 (d3640101@hibikino.ne.jp)

事務局：M1大野敦弘 (m3640101@hibikino.ne.jp)

<写真・文章>

太宰府市ホームページ <http://www2.city.dazaifu.fukuoka.jp/marugoto/>

太宰府天満宮 <http://www.dazaifutenmangu.or.jp/>

九州国立博物館（仮称）設立準備室 <http://www.kyuhaku.com/pr/index.html>

独立行政法人国立博物館本部事務局 <http://www.natmus.jp/>